

学問がくもんのすすめ 冒頭部分

福沢諭吉ふくざわゆきち

小幡篤二郎おぼた とくじろう 同著

天てんは人の上に人を作らず人の下に人を作らずと言えへり。

されば天より人を生しょうずるには、万人ばんにんは万人みな皆同じ位くらゐにし

て、生まれながらの貴賤きせん上下じょうげの差別さべつなく、万物ばんぶつの靈れいたる

身みと心こゝろとの働はたらきをもつて天地てんちの間あいだにあるよろづのものを

資とり、もつて衣食住いしょくじゅうの用もちを達たつし、自由じゆう自在じざい、互たがひに人ひとの妨さまた

げをなさずして各々おのおの安楽あんらくにこの世わたを渡わたらしめ給たまふの趣しゆ

意いなり。されども今いま広くこの人間世界じんげうを見渡みわたすに、かし

こき人あり、おろかなる人あり、貧しきもあり、富める  
もあり、貴人きじんもあり、下人げにんもありて、その有様ありさま雲くもと泥どろの  
相違そういあるに似にたるは何なんぞや。その次第しだい甚はなはだ明あきらかなり。  
実語教じつごきょうに、人学ひとまなばざれば智ちなし、智ちなき者は愚人ぐじんなりと  
あり。されば賢人けんじんと愚人ぐじんとの別べつは、学まなぶと学まなばざるとに  
由よつつて出来いでくものなり。また世よの中に難むずかしき仕事しごともあり、  
やすき仕事しごともあり。その難むずかしき仕事しごとをする者ひとを身分みぶん重おも  
き人と名付なづけ、やすき仕事しごとをする者ひとを身分みぶん軽かろき者ひととい  
ふ。すべて心こころを用もちい心配しんぱいする仕事しごとはむづかしくして、手

足もちを用りきえきうる力役はやすし。故ゆえに、医者、学者、政府の役人、  
または大おおいなる商売しょうばいをする町人ちやうにん、あまたの奉公人ほうこうにんを召め  
し使つかふ大百姓だいひやくしやうなどは、身分重おもくして貴たかき者ものといふべし。  
身分重おもくして貴たかければ自おのづからその家とも富とんで、下々しめじまの  
者ものより見みれば及およぶべからざるようなれども、その本もとを尋たず  
ぬればただその人に学問がくもんの力あるとなきとに由よつてその  
相違さういも出来いたるのみにて、天てんより定さだめたる約束やくそくにあらず。  
諺ことわざに云いく、天てんは富貴ふうきを人ひとに与あたへずしてこれをその人の働はたら  
きあたに与あふるものなりと。されば前まへにも言いへる通り、人は

生まれながらにして貴賤貧富の別なし。ただ学問を勤め  
て物事をよく知る者は貴人となり富人となり、無学な  
る者は貧人となり下人となるなり。